

～元気の出るエピソード～

うつ状態で入院されてきた男性患者様とのエピソードです。入院当初、フロアへまったく出て来ず、ベッドで寝てばかりいることが続いていました。なんとかならないかとフロアの隅にテーブルを置いて食事をして頂くよう働きかけました。それでも食事を済ますとすぐ自室へ戻ってベッドで寝てしまうのです。

笑顔を出して欲しいと思っていると、カルテに興味「登山」と書いてありました。ちょうど私自身登山を始めたばかりだったため、登山をしては写真を撮って「良かったら見て下さい」とベッド脇に置いていました。数日すると患者様から「あの写真撮ったの？」と声をかけられ、ご自身が登山をしていた頃の話を楽しそうに話してくださいました。それ以降、会うたびに笑顔で挨拶をしてくださるようになり、「今度は福島の吾妻連峰に行ってみなよ。いいところだよ～」と教えてくださいました。

程なくして退院することになりましたが、今でも楽しそうに話すその笑顔が忘れられません。これからも患者様・ご家族様を笑顔にしていけるよう頑張りたいと思います。

2Fケアスタッフ 武井 基英

診もり短歌



一人暮らしの老女を見送る
施設へと退院してゆく老い送る
東風吹きそめる 春ちかき朝
Dr ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば 通信

3月号

発行日 令和2年3月1日



3月号によせて

早春の候、平素より当院の運営にご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本来でしたらこれからの季節、春色穏やかな印象でございますが、今年には新型コロナウイルス(COVID-19)が世界中に蔓延しており、私たちの生活も心穏やかに過ごせる余裕も奪われてしまった印象です。

当院では、新型コロナウイルス感染症対策として、インフルエンザ関連にてご面会を中止させていただいておりましたが、引き続き、ご面会を中止させていただいておりましたが、だいております。また、当院に出入りされる外来患者様、デイケア利用者様、家族様、業者の方々全ての方に検温、手指消毒、マスク着用をお願いしております。

皆様におかれましては大変ご心配、ご迷惑をおかけしており申し訳ございませんが、当院が感染の媒介とならないよう、また入院患者様の感染症予防のために細心の対策と対応を図つていきたいと存じます。改めてご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

いち早くこの事態が終息し、皆様が安心して普段の生活が営め、季節の移り変わりを感ぜられるような心のゆとりがでることを願うばかりでございます。

QOL推進部部长 稲橋秀樹

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
お電話での予約が必要になります

- ・紹介状
 - ・お薬手帳をご持参ください。
- 予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土
午前 認知症 外来	鈴木	安西	安西	鈴木	鈴木・安西 (隔週)	休診
	根岸		一木(3/4、 3/25のみ)			
一般 内科	白濱		白濱			
午後(新患のみ)		鈴木		安西		休診

受付時間		診療時間		面会時間
午前	午後	午前	午後	午後
8:45~11:30	13:00~ 15:00	9:00~12:00	14:00~ 17:00	14:00~17:00

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

蓮田市 毎月第一土曜日
認知症カフェ
はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

感染委員長よりお知らせ

現在新型コロナウイルスが日本国内に持ち込まれ、国内での流行が懸念されています。当院での感染防止の観点から引き続き面会を制限させていただきます。

新型コロナウイルスは未だ不明点も多く、その予防には日頃の手指消毒(15-30秒間行うことが目安です)や人混みを避ける、ドアノブなどのよく触れる部位のアルコールによる消毒が有用であるとされています。

来院された方へのマスクの着用、アルコールによる手指消毒にご協力いただき、また患者様自身にも食事前の手洗いなどをしっかり行っています。またご家族様を含め14日以内に特定の国へ渡航歴がある場合にはデイケアの利用を制限させていただきます

面会制限が解除となりましたら、電話にてご連絡いたします。長期に渡り面会を制限させていただき皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願い致します。

感染委員長 薬剤科 阿部 圭吾



病院の取り組み



丸尾相談役の古希祝い

古希を迎えて

先日、蓮田よつば病院の皆様に古希のお祝いをさせていただきました。お祝いのお言葉一つ一つに思い出がありその場面が思い出されました。感謝でいっぱいでした。

看護を職業として50年が過ぎようとしています。手に職を持ち一生の仕事にしたい、人と関わる仕事がしたいと思い看護の道を選びました。小児看護を20年、青森、沖縄、岐阜と地域になじみながら12年間の転勤生活を送りました。

青森では方言に苦労し、沖縄では明日でもいいですか？との言葉に、今やることは今です。看護に明日はありませんと声を荒げることもありました。岐阜では正しいことを言うときは少し控えめにするほうがいい、正しいことを言うときは相手を傷つけやすいものだと気づいているほうがいいと病院長から指導されたことを思い出します。

第2の人生はこの蓮田よつば病院です。理念が好きで2010年4月に就職しました。「大切な人にすすめられる病院を作ります。」その一員になりたいと思いました。その頃入院している皆様は、戦争に行き、終戦を乗り切り、この日本を立て直した人達です。その方々が高齢になり認知症という病気になりました。その方々を看護・介護させていただくと感じて接すれば乱暴な言葉や行動は出てきません。自然と患者様に合わせた言葉使いになり、穏やかな行動から笑顔になります。それが寄り添う看護介護・見守る看護介護だと今でも思っております。

患者様とお話では、戦争のこと・栄養士で兵士の食事を作ったこと・麻雀が大好きなことなどお話は尽きません。私はご家族様ともたくさんお話をしました。どんなに入院までが大変だったか、どんな奥様・ご主人だったか、そして今何を思っているかなどです。

ある奥様が「私は今幸せです。入院をさせていただいたことで、主人にやさしくできています。」その言葉の裏に認知症という病気がどんなに大変だったか、一人で抱えていた苦労を感じることがありました。今でもそうですが、入院生活の中では季節を大切に、日常の中に喫茶店・祭りなどの懐かしい思い出がよみがえる変化が必要だと感じております。

この50年を通じて患者様に笑顔をもらい、ご家族に力をもらい、職員に支えられて看護を続けられてまいりました。看護ほど難しく、看護ほど楽しく、看護ほど当たり前のことを当たり前継続していくものであると思います。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

蓮田よつば病院 相談役 丸尾やよい
(元看護部長)

～よつば訪問看護リハビリステーション～

訪問リハビリの使い方

訪問リハビリには、体の機能を維持するために何年も継続利用して頂いている方・目標達成してリハビリ卒業になる方など様々な利用者様がいらっしゃいます。今回は、その中でリハビリ開始から約2カ月で目標を達成して、卒業された方についてご紹介したいと思います。

Aさん(80代女性)は数年前から、夕方になると「女の子が見える」などの幻視が現れるようになり、対応に困った娘様に付き添われてよつば病院を受診されました。娘様も持病があり、頑固なAさんと口論になる事が多かったそうです。娘様の介護負担軽減と、Aさんの気分転換を目的にデイケア利用を目標とし、まずは外部の人と関わりを持てるよう週1回の訪問リハビリが開始になりました。

診断名は老年期認知症で、訪問中も「時々女の子が居るんだよ」とお話しされることはありましたが、比較的受け答えはしっかりされておりお話好きな印象でした。リハビリではお話や塗り絵、散歩を通して『Aさんと仲良くなる事』を目的に介入させて頂き、何度か訪問するうちに「待ってました」とAさんも訪問を楽しみにしてくれるようになりました。訪問職員と打ち解けたところで、介入の目標であるデイケアを提案させて頂きました。Aさんの不安が少しでも小さくなるようにまずはお試し体験から促し、デイケア職員にAさんの情報や状況についての情報を共有しました。

体験の結果、「お昼食べて、ちぎり絵もしてきた。楽しかった」とAさん自身がデイケア利用に対し前向きになってくれ、そのままデイケア継続利用、介入から約2カ月で訪問リハビリを卒業する事が出来ました。幻視の訴えも徐々に軽減されてきました。

Aさんのように、訪問リハビリは『リハビリを行なう事』以外に『他のサービスへのつなぎ』として利用して頂く事も可能です。外に出たい気持ちはあるけれどもなかなか一歩が踏み出せない方、ぜひ訪問リハビリのご利用をお待ちしております。

訪問看護リハビリステーション作業療法士 小笠原由貴



～よつばご飯～



※写真は職員食になります

献立
主食(主菜): 恵方巻
副菜: 鯛フライ
副菜: 豆サラダ
汁: 呉汁

栄養価
エネルギー: 602kcal
たんぱく質: 26.9g
脂質: 23.4g 塩分: 3.3g
※行事食につき、栄養科は若干高めになっております

最近では、2月の節分と言えば恵方巻が有名になりました。そんな流行りに便乗し、当院でも恵方巻を提供しております。ただし、海苔は高齢者にとって窒息のリスクがある食材ですので、柔らかくて噛み切りやすい薄焼き卵を使って提供しております。もちろん手作りで、調理師が1本1本丁寧に巻いております。海苔よりも彩りが良いので、デイケアのご利用者様からは「すごい!」「おいしそう!」といった声を頂きました。

管理栄養士 水野俊

～よつば病院作業療法風景～

集団活動



作業活動



今月の予定

○誕生会 各病棟
2階、3階随時おこないます

○理美容 第2・3木曜日

感染症対策のため一部行事を中止させていただきます。ご了承ください。